



琴清苑だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp

第43号



■青梅市梅岩寺の夜桜

新年度スタート

介護保険導入十年目年

琴清苑介護支援専門員
佐々木 健児

今年の4月に介護保険が導入されて十年がたちました。介護保険が導入された当初、介護老人福祉施設は終の棲家ではなく通過施設になるといわれました。十年間で色々なことがありました。グループホームや無認可の在宅施設、火災で多くの方々が死亡され、入所施設の安全が世間一般で騒がれ始めました。国民年金で老後の生計を立てている人、生活保護を受給している方々の終の棲家として特別養護老人ホームの機能が世間で周知され、入所待機者が増大してきています。特に琴清苑では生活保護受給者の入所割合が増えています。

高齢者人口の増加によって介護を個人でなく国民全体で支えるシステムとして導入された介護保険は施設入所については高収入の国民には安い負担で介護が提供され、身寄りが無く低収入の高齢者にも導入前とは代わらない負担であるが利用しにくいサービスが提供されています。そして国民年金で生計を立てた家族がいる利用者には高い負担で介護が提供されています。そして現在は、医療行為が必要な入所待機者が増えています。

医療、介護制度の変化や社会の変化によってたびたび介護保険の運用や背景に大きな変化が起きています。今後十年後には予想も出来ない変化が待っていると思われれます。措置入所の方が介護保険導入より良かったなんてことが無いことを祈っています。

平成22年度琴清苑事業計画・収支予算（抜粋）

I 経営方針

今年度は、昨年度実施された介護職員処遇改善交付金事業等による職員の待遇改善に積極的に取り組み、安定的な労働条件による人材の確保と職員個々のキャリアアップに努め、質の高い利用者サービスを維持することができる体制整備を行います。

介護報酬の収入により運営が支えられている介護福祉施設にあっては、施設を取り巻く社会背景に左右されることのないよう財政基盤の強化に努め、「利用者の生活を守る」ことを再認識し、更なるサービスの質の向上、施設職員・非常勤職員の安定雇用・育成、より良い介護体制の再構築、各委員会の充実強化に積極的に取り組んでいくこととともに、情報開示、継続雇用制度の活用、介護サービス情報の公表、第三者評価の実施・結果公表、苦情処理体制についても充実を図っていきます。特に利用者の要介護度が4.2前後で推移していることから、施設行事等余暇活動が停滞傾向にあり、利用者が楽しめる生活形態の拡充を図ります。

また、老朽化著しい施設の改築計画については、法人の中・長期計画の中で平成30年度を目途に全面改築を行うこととし、平成20年12月に策定された「社会福祉施設等の耐震化促進事業」における耐震改修工事を今年度中に行い、利用者が安心して生活できる施設としての、耐震化の促進強化を図ります。

1 重点目標

(1) 介護保険制度下での安定した経営

介護保険制度と介護報酬改定の内容を徹底して理解し業務に反映すべく努めます。また、町内新卒者の雇用・育成、継続雇用制度の周知、パート職員の効率的利用、コスト意識の徹底等、介護施設職員としての自覚をもち、安定した業務の展開を図ります。

(2) 職員の資質の向上と情報開示

介護サービスの質の向上に向けた意識改革を徹底する為に、キャリアパス要件の周知・各委員会機能の充実を図るとともに、ホームページ掲載事項の見直しを行い、介護情報サービスの公表等情報の開示に努めます。

(3) 法人の理念である「心の福祉」の実践とチームワークの強化

人間的なふれあいの中での処遇が実践できるよう介護体制の見直しを行います。専門職としてのプロ意識の徹底を図ります。目的達成のための協力体制の確立に努めます。

2 地域福祉サービス計画

(1) 短期入所生活介護事業

利用しやすい事業の実現に向け、体制作りを行っているところですが、定員が併設型1ベッドの為計画を組みにくい形にあり、利用率を拡大するまで至っていません。今年度は今まで以上に事業の広報・周知に努めたいと考えています。また、空床利用については、入院・入所までの空ベッドを効率よく利用していただけるよう、常に町の支援センター・小菅村・丹波山村等と連絡を密にして働きかけを行います。

3 年間施設整備計画

★建物の耐震化改修工事の実施【東京都耐震化促進事業：工期9/1～12/28】

★建物設備の老朽化対策強化【老朽劣化による改修（浄化槽汚泥運送配管交換工事他）】

※ 詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書（当初予算）	
勘定科目	琴清苑会計
経常活動収入計①	370,506,000
経常活動支出計②	341,079,000
経常活動資金収支差額③（①－②）	29,427,000
施設整備等収入計④	83,067,000
施設整備等支出計⑤	114,450,000
施設整備等資金収支差額⑥（④－⑤）	-31,383,000
財務活動等収入⑦	32,703,000
財務活動等支出⑧	40,000,000
財務活動等資金収支差額⑨（⑦－⑧）	-7,297,000
予備費⑩	0
当期資金収支差額合計⑪（③＋⑥＋⑨－⑩）	-9,253,000
前期末支払資金残高⑫	185,126,843
当期末支払資金残高⑬（⑪＋⑫）	175,873,843



新年の行事

正月元旦は、新年の挨拶から始まりました。美味しいおせち料理に舌鼓を打った後、理事長や施設長と利用者皆様が元気に挨拶し、正月の唄を歌ってお祝いしました。その後、女子職員が和服に着替えて、正月らしさを演出しました。夕方近くには地元の羽黒三田神社囃子振興会の皆様による、正月獅子舞やお囃子を演じて頂き、正月気分は最高潮になりました。利用者皆様にも大変喜んで頂きました。



節分

2月3日の節分の日、2階食堂にて毎年恒例の豆まきを行いました。男子介護職員3名が、神主・赤鬼・青鬼に扮し、神主のお祓いの傍らで、利用者皆様が年女2名を中心に、車椅子に座って、鬼目掛けて盛大に豆をまきました。中には、豆をまかずに食べようとする方もいました。ひやっとなったり、笑いありの賑やかな豆まきでした。その後、参加出来なかった利用者の居室を、神主がお祓いし、鬼が回って利用者には豆まきの雰囲気味わって頂きました。



氷川小学校児童訪問

氷川小学校5・6年生32名の児童が日頃の学習成果を琴清苑の利用者に見て頂くとうと、来苑しました。お孫さんの様な児童の踊りや歌に、利用者皆様が感激し、一緒に歌を唄ったりして、中には涙を流している方もいました。特に地元の獅子舞やその横笛を、小さい児童が見事に習得しているのには驚かされました。その後、獅子舞の児童は各居室を回って頂き、他の児童は利用者にとり本を讀んで聞かせたり、あやとりをしたりと利用者と一緒に楽しい一時を過ごさせて頂きました。



ドクター中野の星のおはなし No.34

春の星座

春の宵で特に目立つのは北斗七星で、北の空に高くかかるこの北斗七星を手がかりにいろいろな春の星座を覚えてみよう。

まず、北斗七星から北極星を見出すには難しくない。次に北斗の柄を曲がった方向に同じくらい伸ばすと、うしかい座のオレンジ色の明るい星、アルクトゥルスに、そしてさらに同じくらい延長すると、おとめ座のスピカの白っぽい星にとどく。

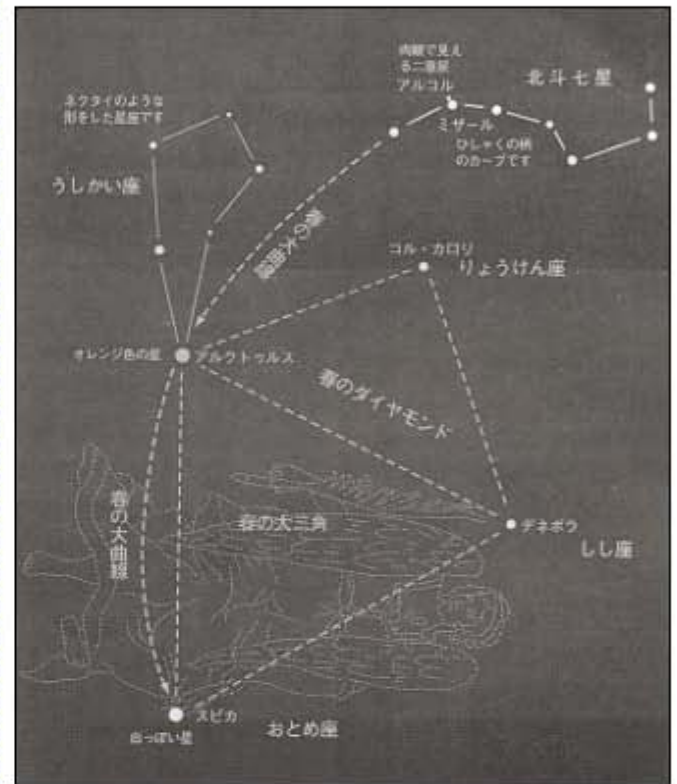
この2個の明るい1等星と、しし座のデネボラを加えて出来る三角形を「春の大三角形」という。さらに猟犬(りょうけん)座のコル・カロリを加えると大四角形を作るが、これを「春のダイヤモンド」という。ギリシャ神話では北斗七星はおおぐま座の一部で、こぐま座と共に語られている。

うしかい座は大神ゼウスと戦った巨人族の一人で、アトラスだとされてい罰として永久に天を仰ぐ責めを負っている。

おとめ座のスピカは日本では「真珠星」とも呼ばれ、農業の女神デルメルとその娘「ペルセポネー」とも、てんびん座の持ち主「アトレア」ともいわれる。

西空では、オリオン座を初めとするおうし、おおいぬ、ふたご等の冬の星座は地平線方にと送られ、秋にならぬまま東天に登り始めるまでにはしばらく見えなくなってくる。

オリオンは5月の初め、東南の地平からさそり座が頭を持ち上げるともう西空から姿を消してしまう。さそりとオリオンは仇敵である



「ビジュアル版・星座図鑑」(藤井旭)より

行事予定

4月1日	寿司の日
4月8日	花祭り
4月9日	お花見
4月23日	屋食会
5月4日	菖蒲湯
5月5日	屋食会
5月6日	屋食会
5月18日	屋食会
5月21日	屋食会



入死された利用者(1月~3月)

1月	町田市	1名
2月	調布市	1名
2月	練馬区	2名
2月	奥多摩町	1名
3月	品川区	1名
3月	奥多摩町	1名
3月	中野区	1名

ボランティア状況(1月~3月)

(敬称略)

シート交換
杉山 初
指圧奉仕
奥多摩奉仕会



編集後記

3月10日に降った大雪も溶け、日毎に暖かくなってきました。琴清苑の周りの山々も、新芽が芽吹く季節となり、一雨ごとに山の緑が濃く変わってきました。新緑と新鮮な空気を味わいにぜひ、面会にお出かけ下さい。

